

第52期第6回常任幹事会 報告

日時：2022年9月22日(木)13：30～15：55 会場：東京労働会館5階地評会議室
出欠：吉田、稲葉、加藤(年)、白滝、千葉、阿久津、山根、相川、市橋、小形、岡本、
加藤(都)、加藤(教)、木崎、國米(代理：佐々木)、佐久間、菅谷、田村、
築館、中山、細見、前沢、森松、吉野、小川、窪田
オブ：坂本、高橋 14/26 (●会場、□リモート、__欠席)
議長：小川

会長挨拶

I、報告

コロナはだいぶ落ち着いてきた感じですが。しかし、11月にはぶり返す可能性もあり、今年はインフルエンザとの同時流行も言われています。

来週の火曜日には国葬が行われるようです。国葬儀といつの間にかなっていってどうなっているのでしょうか？統一教会と自民党との密接な関係が次々と明らかになってきており、党の調査に留まらない名前があがっています。その元締めといわれていた安倍元首相を国葬にするという、党内からも安倍氏の政権運用を批判して国葬欠席するとの声があがっています。さらに統一教会を自民党に広げた人を国葬までして祭り上げる、神格化することになれば、日本の魂までボロボロにすることにならないか危惧をしています。それは私だけでなく、国民の多くが持ってきはじめていることが世論調査の3割を切る支持率の低下に現れていると思っています。このまま下がって総辞職、総選挙にならないかなと思っています。

1、活動報告

- 8月25日(木)15：30～ 人権としての医療・介護東京実行委員会
- 31日(水)18：00～ 中央社保協第1回代表者会議
- 9月01日(木)18：00～ 新介護署名キックオフ集会 オンライン
- 03日(土)14：00～ 都立広尾病院を直営で守る会総会 新橋交流センター
- 07日(水)10：00～ 中央社保協第1回介護障害者部会
- 13：30～ 中央社保協第1回運営委員会、中央社保学校実行委員会
- 14日(水)10：00～ 介護をよくする東京の会事務局会議
- 12：00～ 4の日宣伝行動 巣鴨駅
- 15日(木)18：00～ 外科医師を守る会対策会議 オンライン
- 16日(金)10：00～ 東京自治研究集会第2回起草委員会
- 13：30～ 生存権裁判を支える東京連絡会幹事会

- 20日(火)12:15～ 都議会第3回定例会開会日行動 都庁前
21日(水)13:30～ 高齢者医療費2倍か中止 国会署名提出行動 参議院会館
22日(木)13:30～ 東京社保協第52期第6回常任幹事会
15:30～ 人権としての医療・介護東京実行委員会

2、中央社保協、加盟団体の取り組み

(1) 中央社保協

- 09月07日(水)10:00～ 中央社保協第1回運営委員会
09月17～18日(日) 第49回中央社保学校 from 千葉
参加申込 のべ852名(東京13名)で過去最高。次回は岡山で開催

資料:1～8

(2) 加盟団体・友誼団体の総会・学習会など

- 08月26日(金)13:30～ 都民連総会 ラパスホール
09月01日(木)19:30～ 渋谷社保協総会・学習会
09月14日(水)13:00～ 年金裁判の最高裁判決をめざす集い 全労連会館2階+Web
319名(会場97名)参加 新生存権裁判と運動連携の呼びかけを発言
09月17日(土)13:30～ 板橋社保協総会 板橋土建あーちぷらざ メッセージ
09月17日(土)13:00～ 第49回中央社保学校 from 千葉 オンラインと東京会場
～18日(日)16:00 //

(3) 事務局・幹事団体

1) 人権としての医療・介護東京実行委員会

- ①事務局会議 8月25日(木)15:30～17:00 地評会議室
- ・今回から台東病院を守る会が新たに参加
 - ・6/30独法化抗議声明発出し、連絡会の声明とともに知事、局、会派に届けた
 - ・地域調整会議の資料を報告。高度急性期を減らしていく方向。
 - ・今年度は統一した「いのち署名」は行わない。三単産(全大協・自治労連・医労連)で「夜勤・増員署名」を取り組む。9/3(土)15:00～16:00 秋のキャラバンスタート宣伝(上野広小路口前)、9/24(土)サタデーアピール宣伝(上野広小路口前)、10/20「いのちまもる国民集会」
 - ・連絡会では8/2「新型コロナ感染急拡大における医療提供体制強化の要請」を福祉保健局に提出・懇談。回答は後日。情報公開も使用しながら実態を明らかにしていきたい。利用者アンケートを実施する予定。
 - ・地評では、地域医療構想とからめて都立病院問題を作り直していきたい。連合東京、都に行政的医療の質・量の確保を要請している。運動で連携できないか。9/27、国葬反対もかね、最賃の100か所宣伝を行う。

- ・ 民医連では、7月終わりに対都交渉。介護事業所への補填を要請（クラスターで3千万減収）。独法化したけどコロナ医療は維持するとの事。
- ・ 保険医協会は、都に23年度予算に対する要望を出す。独法化後も運営費負担金は今まで通り出すとの事。機構、縮小しないよう取り組むとの事。
- ・ 台東では、3月に署名5,460筆提出、その後も集まり7,000筆を超える。今後、地域医療構想について学習が必要。発熱外来の対応など、緊急要望書をまとめ、区長に提出する予定。

②協議事項

- ・ 独法化後の状況をつかむ事。必要な要請を行っていく。
- ・ 地域医療構想調整会議次回は9か10月なので傍聴をそれぞれ申し込む。
- ・ 新介護署名の取り組み。9/1キックオフ集会。

③次回事務局会議

9月22日（木）15：30～ 5階地評会議室

2) 介護をよくする東京の会

資料：9～14

①事務局会議 9月14日（水）10:00～11:25 5階東京地評会議室

- ・ 沖縄社保協が提出した請願が糸満市と宮古島市で採択された
- ・ 小平市の介護事業所が会への賛同と賛同金を寄せてきた
- ・ 介護事業所への減収補填を迫る質疑が国会の閉会中審査で行われた
- ・ 自治体の次期高齢福祉計画策定のために行う調査に加齢性難聴関連を入れさせる働きかけが必要ではないか

②協議事項

- ・ 新介護署名紹介議員獲得にむけて地元国会議員への要請を各団体で分担して行う
- ・ 大規模宣伝の実施：2種類の街頭宣伝用横断幕を使って4,25日等宣伝。9/14Twitterデモ、オンライン署名の実施
- ・ 厚労大臣と社保審介護部会への「ひとこと」記入要望書の取り組みと懇談
- ・ 対自治体、議会への減収補填懇談と陳情・請願の提出をさらに進める。文京、日野で議会へ提出。足立、葛飾、江東、江戸川、墨田で日本共産党議員団と懇談している。
- ・ 文京は委員会で採択された。本会議では議員数との関係でどうなるか？日野は委員会不採択。北区でも日本共産党区議団と懇談して、介護現場からケアマネや訪問介護は、感染している人の在宅へ行っているし、コロナ感染の危険は医療と同じなのに、その対策に充てる防護服やマスクなどの「かかりまし経費」はクラスターにならないと出ないし、介護は医療と比して差別されていると訴えた。対区交渉でも大きく取り上げていきたい。
- ・ 介護給付準備基金の調査は42自治体から回答があった。残りは、事務局で問合せしたり、地域社保協など諸団体に要請して調査してもらう。
- ・ 重層的支援事業の実態調査の必要性は解るが、どの様に掴んでいくかは、議員などと相談していく。

- ・対都要望の重点絞込は、回答をみて10/2までにメールでやり取りをする。
- ・11/11介護電話相談の相談員要請を行う。

③当面の日程

- ・9月14日(水)12～13時 巣鴨駅 4の日宣伝
 - ・10月15日(土)14～15時 上野駅広小路口署名宣伝(医労連介護対策委主催)
 - ・10月30日(日)11～16時 全労連会館2階とオンライン 全国介護学習交流集会
- 11月介護アクション月間
- ・11月11日(金)10～18時 介護・認知症なんでも電話相談 ラパスホール
 - ・11月13日(日)16～17時 上野駅広小路口署名宣伝(医労連介護対策委主催)
 - ・11月14日(月)12～13時 巣鴨駅 4の日宣伝

④次回事務局会議

10月12日(水)10時～ 5階東京地評会議室

3) 生存権裁判を支える東京連絡会

①幹事会 9月16日(金)13:30～15:45 5階東京地評会議室

- ・7/19口頭弁論日に第1回署名提出9,293筆
- ・7/27仙台判決はこれまでの敗訴判決を踏襲したものだったが、東京判決後に朝日社説が政治責任と書いたことで世論の潮目が変わってきている。
- ・要請に応じて足立や板橋などで、自治体の生保しおりの記載改善が行われている。
- ・前回弁論では、被告が裁判争点や言い分を変えるので、逃げ道を残さないために調書化を求めたが、認められなかった。こうしたやりとりも意味はある。
- ・はっさく裁判との連携を探り、東京として連携して闘っていくようにしたい。

②協議事項

- ・いのちのとりで全国アクションにチラシ代として2万円カンパすることを承認
- ・運動強化にむけて、連絡会加盟団体へ署名、カンパ、裁判傍聴を再度呼びかける。加盟団体を増やす。地域キャラバン式で隔月に街頭宣伝を実施する。裁判学習会や原告交流会の開催をする。地元国会議員要請を行う。メディアへの働きかけを行うなどの方向を確認し、その具体化をする。

生存権裁判学習会 11月15日(火)14～16時 東京労働会館地下中会議室

③第11回口頭弁論 10月27日(木)11時～ 東京地裁103号法廷 10時より宣伝

同日13時半～15時、衆議院第2議員会館多目的室にて報告会

④次回幹事会 11月15日(火)13時半～14時 東京労働会館5階地評会議室

4) 消費税廃止東京各界連絡会

資料：15～16

①事務局団体会議 9月12日(月)13:45～

同日 大塚駅頭での定例宣伝行動 8団体14人の参加 署名8筆、チラシ100個配布

…消費税の宣伝中に通行人から署名したいという声がかかる状況です。

- ・「消費税減税・インボイス中止」を求める中央集会、

[と き] 11月6日 (日) 13時～~~時間は未定~~ [ところ] 都立芝公園

・国会要請行動

[と き] 11月7日 (月) 午前10時～12時 [ところ]

②次回会議

定例宣伝 大塚駅南口 10月17日 (月) 12:00～12:45

事務局団体会議 10月17日 (月) 13:45～15:00

5) 東京高齢期運動連絡会 <今月は会議なし>

資料：17～22

①次回会議 10月25日 (火) 14時～ 東部区民事務所

…宣伝行動をやると署名がよくとれるという状況になってきています。入谷駅では医労連の人も入ってかなりの大宣伝になっています。署名は全部で83万筆になって、昨日国会へ提出してきました。最後まで宣伝・署名を続けていきます。10/1、その日には新宿怒りのデモを予定しており、多くの人に参加して欲しい。

これからどうするかを各団体で話し合っている。その中で様々な課題を大きくまとめたような運動をやらないとならないという議論になっている。高齢者大会の中でも若い人達の共同を重視しないとできないという議論がはじまっている。

11/23～24の日本高齢者大会に参加を。コロナ対応の実施で色々悩んでいる。ホームページにも詳細を次々出しているの、申し込みをして欲しい。

来年は11月に、東京で高齢者大会を予定しているの、これから各団体を回るが、ぜひ来年の日程に入れて欲しい。

6) 都民連

①総会 8月26日 (金) 13:30～16:00 ラパスホール

…総会では、大門前参議院議員より「やさしく強い経済」との講演があった。新自由主義の本質を解りやすく説明し、それだけでなく、どう経済を立て直して国民に寄与できる経済になるのかヒントになるようなよい学習会であった。

②次回世話人会 月 日 ()

(4) 共闘団体など

資料：23～31

- ・日本共産党都議団から「熱中症から都民を守るためのエアコンの購入・使用を支援する2本の条例案について」の説明がありました。
- ・障都連：障害者の介護保険移行裁判、10/14 が結審ということであったが、裁判長の方からもう一回意見書を出すと言われて、延びることになった。意見書によってはこちらが有利になるし、運動、学習会決起集会などで運動を強めていきたい。

昔、社保裁判の連絡会があったと思う。労働問題ではそういう連絡会があり、地評の取り組みなどを参考にしながら、情報交換ができればよいのではないかと考えている。これからいくつかの裁判を闘っていく時にそういう組織をしていった方がよいと思う。

優生保護法の裁判も進められている。なかなかみなさんに理解が得られないので、10/25に日比谷野音で集会をやる予定。お知らせを事務局に送る。

- ・医労連：入谷宣伝を Twitter にあげたところ、「2割ならまだいいじゃないか」などのツイートが多く寄せられた。中央社保協の Twitter にも同じようなものがあった。その対応をしているのか？教えてもらいたい。

新しく、増員署名を取り組み始め、3年間追求する。キャラバン宣伝スタート行動を9/3に行って、約一時間で百筆近く集まった。

・・・阿佐ヶ谷宣伝の写真をツイートしたら、メンタリスト daigo が「出たお腹を凹ましてから言え」と言うような反応して賛否入り乱れ100万ビューを超えバズった。こうした背景には新自由主義のイデオロギーが広まっていることがある。それで思うのはドンドン宣伝やっていった方がよい。もっと若い人たちを巻き込まないと。写真を見てなんでこんな若い人も一緒にやっているのか？というツイートもあった。

・・・高齢者にお金があるという思い込みがある。そうでないことを明らかにしていく必要があるのではないか？中央社保協がかつて「高齢者の医療費が無料だったのを知っているか？」というアンケートを取ったことがあり、半分が知らなかった。かつては本人負担もなかった。世界的には窓口負担は無料か低額が普通。社会保障の攻撃がまず高齢者からという歴史を伝える必要があるのではないか。社会保障の歴史を伝えることが必要。最近は雑談をする機会が減っているので、こういった話を長時間できる場が欲しい。

・・・SNS は一つの接点であり、それをうまく使えることができないか？ツイートしている若者からすると、こういう希望を持ってない社会を作ったのは誰なんだという問いかけがある様な感じがした。

・・・障害者医療に所得制限導入しようとした時に、座り込みをやったことを思い出した。後期高齢者の問題は対岸の火事ではないし、医療給付費を下げる問題をもっと深めることが必要だと思う。

・・・保険医協会：独法化で協会として福祉保健局と懇談を行った。行政的医療がコロナ下で非常に重要になっており、独法化後もこれまでと同様な実施を求めた。そこで都は中期計画5年間で運営費負担金として2,338億円計上し、これまでと同程度と回答があった。今後も注視していく。

3、会計報告

綴末資料

収入について：会費未納団体に再請求を行ったので、8月は9団体から会費納入があり、未納団体数は13となりました。会費納入率は加盟数で81.3%、金額で98.1%（含過年度分）となりました。その他収入として紙誌の立て替え分と利子がありました。収入累計は963万355円、執行率98.4%となっています。

支出について：今月の特徴的な支出は、幹事会費として学習会の講師代・交通費、調査活動費として、介護アンケートの再郵送代、備品費としてニュース作成用ソフトのバージョンアップを行いました。支出累計は555万6,787円で執行率56.8%となっています。

Ⅱ、協議事項

1、情勢から

(1) 青木香芝市議に出席停止処分 不当懲罰差し止め提訴

資料：32～35

奈良県香芝（かしば）市の青木恒子市議（日本共産党、1期目）は24日、市議会の懲罰特別委員会での出席停止処分に対し、処分差し止めを求め奈良地裁に提訴しました。

同時に、9月5日の市議会本会議での議決を阻止するため、仮差し止めを求める申し立てを行いました。本会議で可決されると、青木市議は直ちに同日から8日間の議会出席停止となります。

昨年12月14日の福祉教育委員会で、川田裕市議会議長が国民健康保険や生活保護窓口への議員同行行為は禁じられている趣旨の発言をしました。これに対し青木市議が「政治倫理条例の何条にあるのか」などと意見したことが、「侮辱または名誉毀損（きそん）にあたる恐れがある」と懲罰の対象にされました。今年2月以降、懲罰として議場での陳謝文の朗読が強要され、青木市議が拒否することが繰り返されました。これを理由に6月、出席停止の懲罰動議があり、今月18日の懲罰特別委で5人中3人の賛成で可決されました。

提訴・申し立てした青木市議は同日、弁護士とともに奈良市で会見し、「困窮している人に寄り添う活動は議員として当たり前。懲罰委は秘密会で、本会議では弁明の機会がなく不公平だ」と訴えました。宮尾耕二弁護士は「議会中継の録画をみてください。到底、懲罰の理由にならない」と話しました。（8/27付しんぶん赤旗）

(2) 22年に96万人不足 医療・福祉就業者の見通し

厚労省は16日に公表した4年版厚労白書で、22年に必要と見込まれる医療・福祉就業者1070万人に対し、96万人が不足するとの推計を示した。必要数の内訳は医療が約330万人、介護が約500万人、その他が230万人だが、確保の見通しは医療・福祉全体で974万人にとどまる。同省は、健康寿命の延伸やイノベーション、タスクシェアなどで必要数を引き下げつつ、処遇改善のほか、アクティブシニアや外国人などの人材参入を促進すると政策の方向性を示した。

今回の白書は「社会保障を支える人材の確保」がテーマ。少子高齢化によって現役世代の急減が見込まれ、団塊ジュニア世代が65歳超となる22年の20～64歳人口は5543万人（人口の50%）となり、2年比で約1400万人減少する。厚労省は企業が70歳までの就業機会確保に努めていることを踏まえ、69歳までの就労できるなら人口の58%にあたる6450万人を確保できることも示した。（9/19付国保情報）

(3) マイナ保険証2千万件超える カード交付者の3分の1に

厚労省によると4日時点の調査でマイナンバーカードの被保険者証利用登録が2003万1325件となり、2千万件を超えた。7月7日時点の調査で1000万9388件と1千万件を超え

てから約2か月で倍増。マイナンバーカード交付枚数5966万827件（8月末時点）の3分の1が保険証登録を済ませた計算になる。

総人口（1億2593万人、4年1月1日）に占めるマイナ保険証の交付割合は約16%にとどまる。マイナンバーカード自体の普及が総人口の約47%と半数に届いていない状況だ。政府は電子マネーなどに最大計2万円分が交換できる「マイナポイント事業」などを実施しているが、4年度末までにほとんどの国民が取得するという目標達成は厳しくなっている。厚労省は、5年4月から医療機関・薬局にオンライン資格確認システムの導入を原則として義務付ける。6年度中をめどに保険者による保険証発行の選択制を導入し、その後、オンライン資格確認の導入状況等を踏まえ、保険証の原則廃止をめざすとしている。（9/19付国保情報）

2、当面の重点課題

（1）東京社保協独自の取り組みなど

1）都内医療提供体制の充実を求める

資料：36

都立病院の充実を求める連絡会が、8月2日に地方独立行政法人東京都立病院機構へ「新型コロナウイルス感染急拡大における医療提供体制強化」の要請を行い、9月はじめに機構から回答がありました。連絡会では、各病院で患者アンケートを実施する予定です。人権としての医療・介護東京実行委員会でも引き続き動向をみながら適宜、都や機構に働きかけを行う予定です。

…9/7朝日新聞の記事にはコロナ病床4割しか入っていないと報道された。介護度が高い人を民間病院から頼まれて入っているのを、重症度が低い人も入れているなど恣意的な言い方がされている。独法後に200床くらい減っている。独法を機に離退職した従事者がいる。マンパワーが不足している背景もみない報道。民医連病院では、コロナ入院の中央値が80歳だった。それくらい介護度が高いので、看護のマンパワーが不足だと推察される。

2）新生存権裁判東京 勝利に向けた取り組み

資料：37～43

①署名を引き続き集めていく

前回会議では、東京地裁宛署名を8～9月集中的に集めることを提起しました。10月27日が次回口頭弁論日で、口頭弁論日ごとに署名を提出することになっています。今回は、集約日を20日として提出します。結審はまだ見通せませんが、そこに向けて大きな流れをつくるためにも、引き続き署名に取り組んでください。

②地域での生存権裁判の意義、争点などの学習会開催

裁判争点学習会 11月15日（火）14～16時 労働会館地下中会議室＋オンライン

加盟団体、地域社保協で守る会など諸団体とともに学習会や原告を支援する会を計画してください。東京の支える連絡会や原告、弁護団に講師依頼をします。

③裁判所法廷傍聴を呼びかける

10月27日（木）11時、東京地裁103号法廷です。当日は地裁前で10時から街頭宣伝、

13時半から第2衆議院会館多目的室で報告会を開催します。これらへの参加を呼びかけてください。

- ④全生連の要望などを参考に自治体懇談や要請、議会陳情・請願を検討してください。

3) 自治体への調査や自治体・議会への要請など

各地域社保協の取り組み状況をお知らせください。請願・陳情書なども含めて社保協間での交流を行っていきたいと思います。対都・議会に対しての要請も検討します。

現在、東京社保協として実施・計画しているものは下記の通りです。

①第7期介護給付準備基金と8期への繰入調査

資料：44～47

介護をよくする東京の会として8月末までの期限で各自治体へ2度要請し、42自治体より回答が得られました。すべての自治体データを揃えるために他の方法も含めた具体化をします。その中で、地域社保協からの働きかけもお願いします。

②国保実態調査

資料：48

例年行っている調査について設問項目の見直しについて自治労連に意見を聞いています。準備が整い次第、継続実施します。

各自治体に国保値上げするな、子どもの保険料の更なる軽減等の要請や議会請願を行ってください。

③介護事業所の「コロナ減収補填を求める請願・陳情」の提出や懇談

陳情ひな型（前回資料）を活用した各自治体行政や議会に対しての懇談、陳情・署名が民医連を軸に始まっています。介護をよくする東京の会として、第4回定例都議会へ介護改善の請願を提出する予定です。

④原発事故被害・いわき市民訴訟 緊急要請

資料：73～75

原告団の方が要請に来られて、10月締切で団体署名を重点に呼び掛けて欲しいとの要請がありました。国に責任がないとした最高裁判決を覆す大きな世論が必要。

…東京社保協として団体署名を提出する

上記、国保や介護改善を求める要求等を来年度予算要望などの一項目に含めたて要望する取り組みも実施されています。ぜひ、そうした形でも各地域で要請をしてください。

4) 第52期東京社保学校開催

綴末資料

日程：10月15日（土） 10～16時（予定）で確定。

会場：けんせつプラザ東京をメイン会場としてWeb併用

内容：「全世代型社会保障制度改革の意図するもの（仮題）」唐鎌直義 佐久大特任教授

「直営病院をなくした東京都政の現状（仮題）」安達智則 東京自治体問題研

参加申込締切は10/12

現在参加申込は10名。幹事団体は複数名、加盟団体は1名以上の参加を

当日日程・役割分担、運動交流テーマについての検討

…当日日程と役割分担などを別紙にて確認した。

5) 第14回東京地方自治研究集会（再掲）

2023年2月4日(土)日本教育会館会場とWebで開催、全体会と5分科会、1講座で開催予定です。東京社保協は、実行委員会団体、起草委員会メンバーとして加わり、内容について論議継続中です。第2回実行委員会は9月28日。実行委員団体レポート提出12月末。

6) 社会保障入門テキストなど学習会の開催について（再掲）

- ・各地域での社保学校開催をめざしてください。講師料・会場費などへの補助を年間1万円まで/団体をします。要綱と申請書を作成したので、申請してください。
- ・「社会保障入門テキスト」（2021秋号）以降の社保誌に補講が連載されています。

7) 相談活動ハンドブックの改訂版の作成（再掲）

各団体に分担して加筆・訂正をお願いしておりましたが、改定の必要性や時期については、改めて論議することにしたいと思います。

(2) 中央社保協の取り組み関連

臨時国会が10月3日から開催される見通しのため、国政に向けて様々な取り組みが下記以外にも具体化されると思います。都度発信をしますので、取り組みを強めましょう。

1) 75歳以上窓口負担2倍化法を実施させないたたかい

資料：49～50

- ・全国各地とともに東京ではこれまでに大田、杉並、台東、江東などで、東京高連や地域の諸団体とともに街頭宣伝が行われました。9/14にはTwitterデモ、オンライン署名スタート、9/21には国会署名提出行動が行われました。引き続き9月末日まで、宣伝署名行動などに取り組みましょう。

9月25日(日) 17～18時 新宿駅大宣伝行動 新宿駅東口アルタ前

10月1日(土) 13:30～「怒りの新宿デモ」 新宿駅東口アルタ前集合

資料：76～78

- …2倍となると、軽減措置対応には、口座を作らないと個々に申請しないとならないらしい。そうした対応がわかるチラシや資料がないか？複数医療機関にかかっていると口座を作成して欲しいという案内が保険証と一緒に送付されている。健生会がチラシを作成している。基本的にはかかっている医療機関の窓口で相談するのがよい。

2) 全国署名など社会保障制度充実、介護署名

資料：51～63

①介護保険制度改悪を許さないために、介護改悪法案を来年の通常国会に出させない
新署名の目標は50万筆（昨年度実績28万筆の倍化）

9月1日(木) 18～19時 キックオフ集会開催 320名（うちオンライン302名）参加

10月15日(土) 14～15時 介護青空学習会&署名宣伝行動 上野駅広小路口

- ・介護署名3団体で緊急アピールを作成した。7団体共同アピールへ調整する。
- ・地元選出国會議員に紹介議員になってもらう要請を行いますので、地域社保協でも取り組んで欲しい。
- ・労働大臣と社会保障審議会介護保険部会に要望書（私のひとこと）を提出するとともに、大臣要請や委員会開催日宣伝などを行う。
- ・10月30日（日）11～16時に「全国介護学習交流集会」が全労連会館2階とWebで開催
- ・11月はケア労働アクション月間として共同行動の推進をはかる。
- ・自治体にも介護署名の内容を国に求める意見書をあげてもらうために、行政や議員との懇談や請願・陳情を行う。改悪内容を知ってもらうための宣伝活動の取り組む。
- ・11月に国会署名提出行動を計画
- ・11月11日（金）10～18時に「介護認知症なんでも無料電話相談」・・・チラシで宣伝を東京社保協は中央社保協とともに東京での相談室開設、相談員要請などを行います。

②いのち署名：今年は従来のような統一署名はなく、各団体要求で個別に実施とのこと。

東京社保協の取り組みとしては、いのち署名（中央段階統一署名）前は、中央社保協請願の項目に独自項目を加えて「社会保障制度の充実を求める」国会請願署名を作成して行っていた。今年は都議会宛の介護をよくする東京の会の介護署名に集中する。

・・・都は法定外繰入について削減方針だと思うが、論戦の中で運動に使えるような都側の発言はあるか？国分寺は保険料を上げられないと提案したが、運協の中で他市と比べて低いから上げろという意見が出たので、上げるなという請願を出した。自治体アンケートの項目の中で解消計画を聞いているのではないか？その部分の一覧表を作成して欲しい。国分寺では、コロナ減免が500世帯くらいあり、昨年度国保会計も黒字だったので、上げなかった。

土建国保への都からの補助金は、自治体健保から出すより都一括で出す方が支出が少なくて済むので、都から出すようになった経過がある。これを追求すると補助金出すなという厚労方針に行き付くことになるし、根本問題で闘わないとならない。

3) 地域医療・介護・福祉を守る運動の推進で、地域の要求実現へ

資料：64～70

- ①10月3日（月）13時～ 子どもの医療費窓口負担無料制度を！ 参議院会館B104+Web
主催：子どもの医療費無料制度を国に求める全国ネットワーク
- ②10月20日（木）13時～ #いのちまもる総行動 日比谷野音
- ③11月23日午後に「地域医療運動交流集会」がWebで予定されています。寺尾正之氏を講師に「地域医療構想と新ガイドラインについて」の講演があります。
- ④12月11日（日）午後 国保改善運動学習交流集会（予定）
来年のいっせい地方選挙で国保問題を争点に押し上げていくことをめざす。

4) 改憲阻止、核兵器禁止にむけた取り組み（再掲）

- ①学習会などの開催

- ・社会保障誌2022年初夏号「憲法特集」とその中の「Q&Aパンフ」の抜き刷りを活用して、対話や学習会を行いましょ。
- ・中央社保協の「憲法特集」オンライン学習会は計画中

②署名の推進

「憲法改悪」を許さない全国署名 の取り組みを推進します。

6) 「4の日」宣伝 (Since2017年2月～) など

①東京社保協・中央社保協の共同での「4の日宣伝」

・10月14日(水)12時～、巣鴨駅前

②各地域社保協での独自・共同宣伝(再掲)

9の日宣伝、25日宣伝や消費税宣伝に諸団体と合同しての実施も含めて、地域社保協として計画してください。

7) マイナンバー制度

資料：71～72

8/31マイナンバー制度反対連絡会学習会&総会開催

「健康保険証の原則廃止」と「マイナンバーカードの保険証利用等に係るシステム導入の義務化」を撤回すること署名の推進と学習会の開催

…署名の取り組みを行う

3、決裁事項

- 1) 中央社保学校宿泊費 実行委員として参加のため 12,332円 …事後報告
- 2) ZOOMアカウント Standard Pro 1年契約 22,110円 …事後報告
- 3) 東京地方自治研究集会分担金 5,000円
- 4) 11/23～24 日本高齢者大会in京都への参加 専従者2名の現地参加費 約7万円×2人 …コロナ対応として宿泊大部屋でないところを検討するので、東京高連の提示より高い額を予定。

…上記承認

4、要請事項、その他

(1) 加盟団体・友誼団体の学習会、総会あいさつなど

09月23日(金)10:00～ 東京地評第21回定期大会 メッセージ

09月29日(木)18:30～ 墨田社保協2022年度定期総会 すみだ女性センター

(2) 当面の日程

9月25日(日)17:00～ 2倍化許さない!!新宿大宣伝行動 アルタ前

- 27日(火) 18:00～ 池袋駅東口全都いっせい100カ所宣伝
28日(水) 13:30～ 中央社保協関東ブロック会議 オンライン
18:30～ 第14回東京地方自治研究集会第2回実行委員会
10月01日～02日(日) 地方自治研究全国集会 オンライン
01日(土) 13:30～ 高齢者デー新宿アルタ前宣伝
03日(月) 13:30～ 都民生活要求大運動第2回実行委員会
05日(水) 10:00～ 中央社保協第2回介護障害者部会
13:30～ 中央社保協第2回運営委員会
12日(水) 10:00～ 介護をよくする東京の会事務局会議
18:00～ 外科医師を守る会対策会議 オンライン
14日(金) 12:00～ 4の日宣伝行動 巣鴨駅
15日(土) 10:00～ 東京社保学校
14:00～ 介護青空学習会&署名宣伝行動 上野駅広小路口
20日(木) 13:00～ #いのちまもる総行動 日比谷野音
25日(火) 14:00～ 東京高齢期運動連絡会幹事会 東部区民センター
27日(木) 11:00～ 新生存権裁判口頭弁論 東京地裁
13:30～ 同報告集会 衆議院第2議員会館多目的室
13:30～ 東京社保協第52期第7回常任幹事会
15:30～ 人権としての医療・介護東京実行委員会
30日(日) 11:00～ 第20回全国介護学習交流集会 オンライン

(3) 常任幹事会の日程(定例日:毎月第4木曜日)

次回 10月27日(木) 13:30～ 5階東京地評会議室とオンライン
…新生存権裁判の口頭弁論と報告会の開催日と同日

次々回 11月17日(木) 13:30～ 5階東京地評会議室とオンライン

…定例日11月24日は日本高齢者大会に専従が参加のため一週間早める

…開催日程は上記のとおり11月は日程変更して確認